

第3回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池周辺に、トンボが生きていけるだけの食べるものがないといけない。トンボ池の最後の池の下にクズの原っぱを市民農園のような形で貸し出す。競馬場の馬糞などを使って堆肥をつくり、有機農法みたいなことをすると虫が増えるのではないか。 虫が飛び交うことによって、虫をトンボの成虫が食べて産卵するというサイクルをつくならい、水をいくらきれいにしてもトンボは徐々に減っていくのではないか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	ヨシがやせこけて生えているので、有志の方で集まって刈り取ることを考えてみたいと思う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池にある蛇籠とかが朽ち果てそうになっているので、どのように再生したらいいか工法を考えながら、研究や勉強会につなげていけないだろうか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	ニジマスは、上流では小さいが、忠節橋あたりへ行くとすごく大きくなっていて、その間にどれだけのアユをたべているのか分からないという危機感を持っていると釣り人から教えていただいたが、上流とのつながりや連携はこれからどういう構想を持っているのか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	上流から下流まできちんとやれるような働きかけをしてもらいたい。すでにやっているところでは、地域への働きかけだけでもしてもらいたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池は冬に干上がると聞くと、ブラックバスとかの外來魚は干上がった効果でいなくなるのではないか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池を掘り下げの際に、重機を入れて掘り下げた場合、当然別な影響が出てくると思うが、そのあたりをどう考えているのか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	支流の緩流域再生の事業を行う場合、ブラックバスがいる状態で緩流域を増やせば、ブラックバスの産卵床を増やすことになり、結果的にブラックバスを増やしてしまうのではないか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	名古屋市では、東部丘陵地の方に農業用のため池というのが今100個ばかり残っていて、毎年1つか2つずつ干しながら外來種も退治するという活動をしていて、ブルーギルやブラックバスだけでなくスイレンやホテイアオイも外來種ということで退治するというやり方をしている。こういう活動をするときには、3年ほどかかってどういう手順でやっていこうということ専門家の先生たちが集まってやっている。トンボ池も、できたらスイレンを退治した方がいいんじゃないかなと思う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	オニバス以外のスイレンは、いつごろからあったものなのか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池の環境がだんだん悪くなって、トンボの数が減ってきている、一番の原因は水枯れである。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボが生きるのには、水、水辺のプッシュ、草むらが大事である。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池再生の緊急的な対策として池の底面を1m掘削するとあるが、このあたりのことを説明してもらいたい。本対策としても水の供給についても説明してもらいたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池再生の対策は、何カ年計画で、どのぐらいのスピードで行うのか教えてもらいたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池にあるポンプはたしか使えるはずなので、使わないといけない。池にとって、鉄・マンガン・リンはすごく厄介なので絶対使ってはいけない。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池に隣接するグラウンドから塩化カルシウムを含んだ土砂がトンボ池に入り込んでいて、それが一番生態的にトンボ池に与える影響が大きいと思う。 グラウンドの水をどこかで沈殿させて木曾川へ流していくというシステムを設ければ、トンボ池の水はもっとまともになるのではないかなと思う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	岐阜会場	トンボ池の周辺にはクズとイバラが群生していて、そこにいる水生生物が枯れてそのまま放置されている。その状況の中で多様な生物が生息するのは不可能に近い。 市民活動の中で、もう少し池の周りをきちんとしていけないと、どうしても枯れたものを池の中にいつまでも置いておくということは、酸欠になってしまう。

第3回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法		開催場所	頂いたご意見
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	できるだけ手をかけなくてもいい環境にするにはどうしたらいいかという、人的なものをいかに削減していくかということじゃないか。だから、沈殿池にするのか、それともトンボ池にするのかということ、もう少し地域で話し合わないと国交省が一生懸命頑張っても限界がある。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	長良川と境川の合流点で樹木伐開の現地を見学させていただき、意見を出してくださいということで意見を出させていただいた。見ても、発言を言っても、結局根っこから全部とってしまう。こんな状況で意見を言っても何になるのか。もっとまじめに考えていただきたい。1本の木でもいいから残していただきたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	中州的な場所というのは生物のえさととり場にもなっていて、少しでも中州に木が残ればいいなと常々思っている。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	伐開の地図を見ますと、木曾川の中濃大橋のところが伐開地域になっているが、ここに宿り木がついた木がある。この宿り木には特殊な鳥がえさとして利用していて、可児市の中に2カ所ある。全部切ってしまうと、もうその鳥は来なくなってしまいますのでそういう特殊な木だけは残していただくというような配慮をお願いしたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	トンボが飛ぶための空間をつくるために樹木を何でも切ってしまうということではいけないので、樹木を切るときはぜひ私の意見を聞いていただきたい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	「堰上げ」という言葉を盛んに使われている。「堰上げ」という言葉は、うっすらと水面を上げるという意味のことだろうなど分かるが、一般市民の方々にも配付するような資料であれば、分かりやすい言葉で「水面が上がる」と単純に書いた方がよいのではないかと。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	会場での発言	岐阜会場	川に関する取り組みをされている方に、会場にある地図を印刷して配布してはどうか。そうすれば、10年でも20年でも地図を見ながら川の活動に取り組める。この計画は5年ごとに見直していくということだから、初めの資料がないことには、見直されたときには前は何かあったかということになる。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	付箋紙	岐阜会場	自然公園の設置を希望する。(土地代無料でもいい) 下中屋町内地主【木曾川右岸47kp付近】
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	外来魚駆除は、エサ釣りが最も効果が高いと思います。投網、水抜きは、在来魚へのダメージが大きいと思います。エサは、オキアミが良いと聞いております。びわ湖では、海釣の竿にオキアミをエサとして駆除する団体「外来魚バスターズ」が活動しています。ルアー釣りなどとは釣果は比較になりません。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	木曾川支流の可児川周辺に住んでおります。今日のセミナーで観たり聞いたりしたことを自分のテーマとして可児川でできることに取り組んでいきたいと考えております。今後、ご教示・ご支援を願うこともあります。よろしくお願いいたします。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	外来魚の駆除活動については、全国豊かな海づくり大会の関連の行事として、岐阜県下で広く実施し、大会終了後もその活動のネットワークが永く続くようにできれば良い。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	「トンボ池の泥から何の植物が生えるか」の話は面白い。今度、私も取りに行き子供と一緒に観察して楽しみたいです。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	貴重種を売買目的で採取する人がいるが、この対策を何とかできないか。少なくとも看板を設置して見つけた場合は、罰金・罰則等を明示するだけでも効果があるのではないかと。マスコミを通じた啓蒙も必要だと思う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	自然再生をキーワードとする書籍を、このセミナーの成果品としていつか出版してはどうか。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	休日の開催もこれまで通り行いつつ、平日の開催も折り混ぜると面白いと思う。意義深い内容であり、産官学のメンバーが業務の一環として多く集まる可能性もある。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	本日のセミナーに多くのNPOや地域の活動家の方が参加され、それぞれ貴重な意見を言われている。このNPOを統括する組織を立ち上げ、行政の情報、NPO個々の情報・交流の提供等を行う事により、自然再生の協働とつなげて行く。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	セミナーの報告をふれあい懇談会を実施した市町村に掲示する事により、さらに多くの住民参加ができ、上記活動につなげる事ができる。HPだけでは一部の人のみしか参加できない。

第3回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法		開催場所	頂いたご意見
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	資料を少なくしてもらいたいです。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	今後、持ち帰り考える資料があるといいのではと思います。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	外来魚の駆除は続けていかなくてははいけない。 長良橋下のドッグで子供たちがルアーで50cm位のオオクチバスをつありあげている。かなり大きな物が生息している。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	官民一体でたいへんよい。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	自然と共生することは大事な事と思います。私達も河川敷内に遊歩道を作るプロジェクトに参加し、汗を流して作業を行い計画どおり完成させる事ができました。我々の行為は自然再生計画の一端ですが、地域環境によって様々な取組が有り、またその必要があることを今日改めて感じたところであり、有意義な時間を持てたと思います。今までの行為をこれからも自信をもって続けたいと思います。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	我々、成人ももとより、小学生のためのセミナーを開いたらいいと思う。小さいときから、自然に関して教育の場を提供すべきである。笠松のトンボ池は話しは聞いていましたけど、広大な土地で池も数多くあり正直言って驚きました。もっと公園として整備され、自然との共生するための研究室や研修室を備えたらいいと思う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	岐阜県の木曾三川の問題点などをもっと知りたいので、専門家によるシンポジウムを開催して、より多くの人に参加できるような企画を立ててほしいです。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	地元の意見を取り入れ、協力しながら行う。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	各所のボランティア活動を利用する。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	大変参考になった。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	本3/14ふれあいセミナーに参加 相肉の天候だったがとてもいい見学会とセミナーでした。特に名古屋から参加した事で道中、木曾川と長良川の水位上昇の時間差をまのあたりに出来たことそして見学移動中水位が上がったため、水中から多くを樹木がおぼれないよう背伸びしてる様は伐開の必要性を十分知らせてくれました。要はほどほどにと言う事だと思います。必要なものを厳選し、残す物は残す事です。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	伐開は何年毎を見込まれてるのでしょうか。10~20年最長30年としてそこから発生する木質資源を自然環境改善に有効利用する方策をとって頂く事を望みます。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	展示されていた三川の全体整備計画図面について、私はインターネットしてないので見る事ができません。とりわけゾーニング以外の細部についても詳しく知りたいです。A4サイズにコピーして是非入手したいと切望しています。よろしく願います。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	とても上手にやられてると思いました。沢山の人が集り意見交換もできました。もっと時間がほしいくらいです。このセミナーがアライバイづくりに終わらせないように願います。
第3回木曾三川ふれあいセミナー	ご意見用紙	岐阜会場	名古屋ではCOP10を控えてこの機に自然環境改善への取組を活発に行ってます。特に小・中・高・大の学生への環境教育が見直されています。まずは情報発信が大切かと思えます。